

情報セキュリティ心理学研究室

Cyberpsychology Laboratory

人間が直面する情報セキュリティやプライバシーの問題について明らかにし、その成果を活かした対策を提案することで、信頼に基づく情報化社会確立に貢献することを目指します



担当教員： 稲葉 緑

人間を対象とした実験・調査によるデータや過去のインシデント事例の分析を通して下の研究テーマに取り組んでいます

情報セキュリティインシデント や対策に関する心理・要因

- ・グループ企業内の会社の情報セキュリティ対策実施を左右する要因
- ・グループ企業内のインシデント情報の共有に関する阻害要因とその対策
- ・社員の情報セキュリティポリシー違反とインシデント再発との関連



情報セキュリティ教育

- ・社員の情報セキュリティ意識向上を目的とした教育プログラム
- ・社員の情報セキュリティポリシー遵守を促すためのコミュニケーション促進ツール
- ・安全なSNS利用を目的とした青少年向け教育プログラム
- ・フィッシング詐欺被害防止に効果的な教育プログラム



自律的に適切な情報行動を促す 仕組み

- ・企業の情報セキュリティ対策進捗を目的とした管轄官庁主導の促進策
- ・社員の情報セキュリティコンプライアンス遵守を促す仕組みの実証実験
- ・行政手続のデジタル化普及に有効な市民に対する働きかけ



情報の取り扱いにおける信頼 の問題

- ・SNS上で意図しない自己情報開示を誘発する要因
- ・SNS上でのDisinformation（悪質な誤情報）拡散に関する心理要因
- ・個人情報の取り扱いに関する利用の認知や満足度向上を目的とした施策



連絡先： inaba@iisec.ac.jp